

自転車利用実態定点調査票

	走行空間				乗員		雨天		危険運転行為							
	車道左側	車道中央	歩道	山道	子乗せ	乗客	雨	曇	飲酒	携帯電話	スピードの出しすぎ	片手運転	立ち漕ぎ	ハンドル	過積載	その他
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																

調査日時：	平成	年	月	日（ ）
天気：				風速：
調査時間：			～	

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、12～57%と多岐にわたるが、平均すると24%である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回は、全体の7割強を占めている。同一地点（個別データ）においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(97件)・ハンドルに荷物(45件)・片手運転(40件/内3件は、携帯電話を使用しながらの運転)・立ち漕ぎ(23件)・歩道上でのスピードの出しすぎ(21件)・過積載(19件)・子乗せ後部席に荷物掛け(*1)(10件)・車道右側走行(12件)・脇見運転(7件)・ジグザグ運転(3件)等の順となっている。

*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

【総合】

今回は、平成 30 年度第 9 回目の調査となり、前回のデータと様々な点で比較してみた。

- ・利用者別 今回も、午前が午後の利用者を上回った。
- ・車道左側走行率 今回(24.2%)は、前回(21.9%)の 1.1 倍の水準である。
 なお、午前 (24.6%)は、前回 (20.5%)の 1.2 倍の水準である。
 また、午後 (23.8%)は、前回(23.5%)と同様の水準である。
- ・子乗せ自転車 今回(21.8%)は、前回(23.7%)と同様の水準である。
 なお、同自転車における同乗者あり(36.7%)の場合でのヘルメット着用率は、80.2%(週平均は、70～89%の範囲で推移)である。
 今回(80.2%)は、前回(77.5%)と同様の水準である。
- ・電動アシスト自転車 今回(32.4%)は、前回 (34.1%)と同様の水準である。
- ・危険運転行為 上位 3 件別では、[肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転] の順である。
(違反行為を含む) 一方、下位 3 件別では、[子乗せ後部席に荷物掛け・脇見運転・ジグザグ運転] の順である。

なお、今回も、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体(271 件)の 5 割(131 件)を占める形となった。

(危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

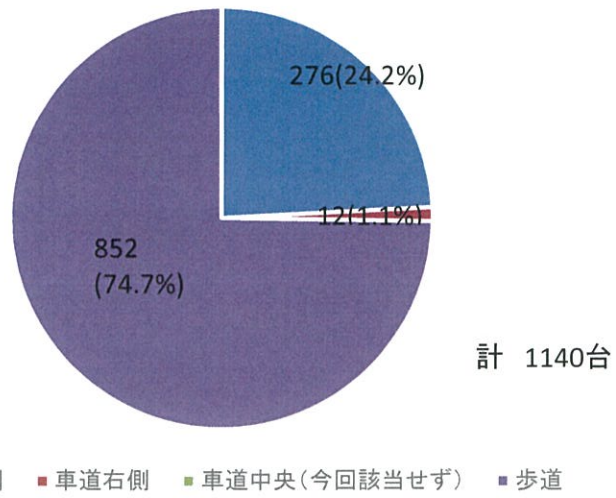
また、利用者全体(1140 名)における危険運転行為(違反行為を含み 271 件)の比率は、割合上(*2)では、22%となっている。

*2 実際は、1 名で複数の危険運転行為等を実施している件(15 件)も含まれるため

今回の雨天時のデータは、傘さし運転者(計 6 人)に対し、合羽着用者(計 26 人)で 4 倍であった。

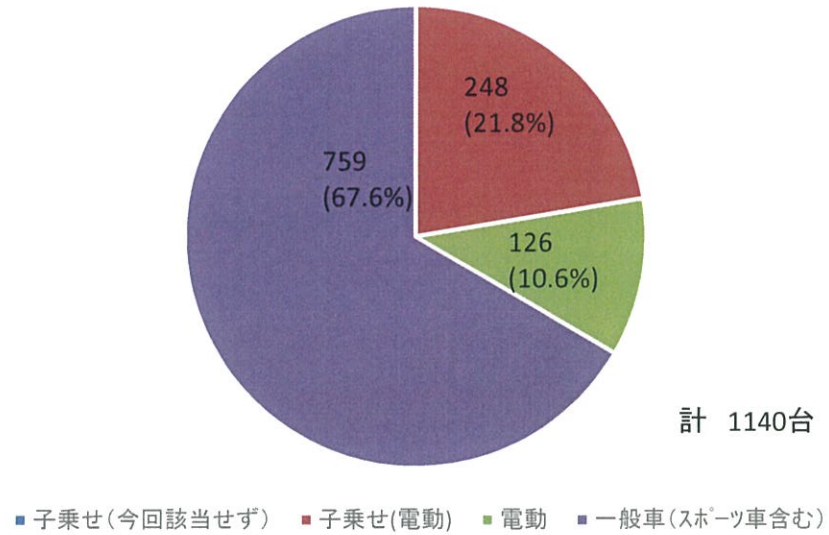
調査期間は、3 日間であった。

走行空間



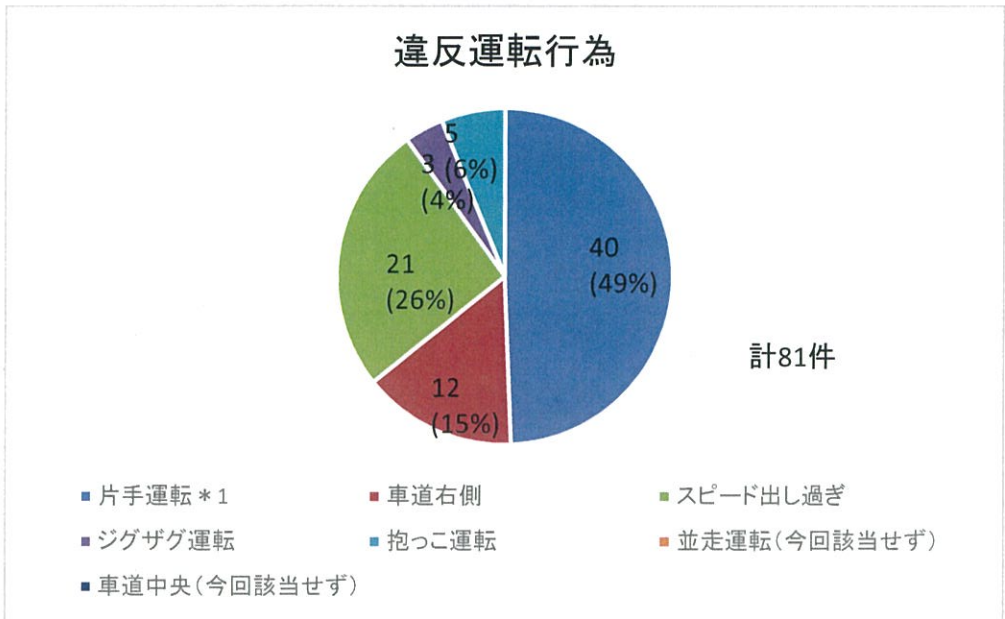
調査期間 12/5~28

車種



調査期間 12/5~28

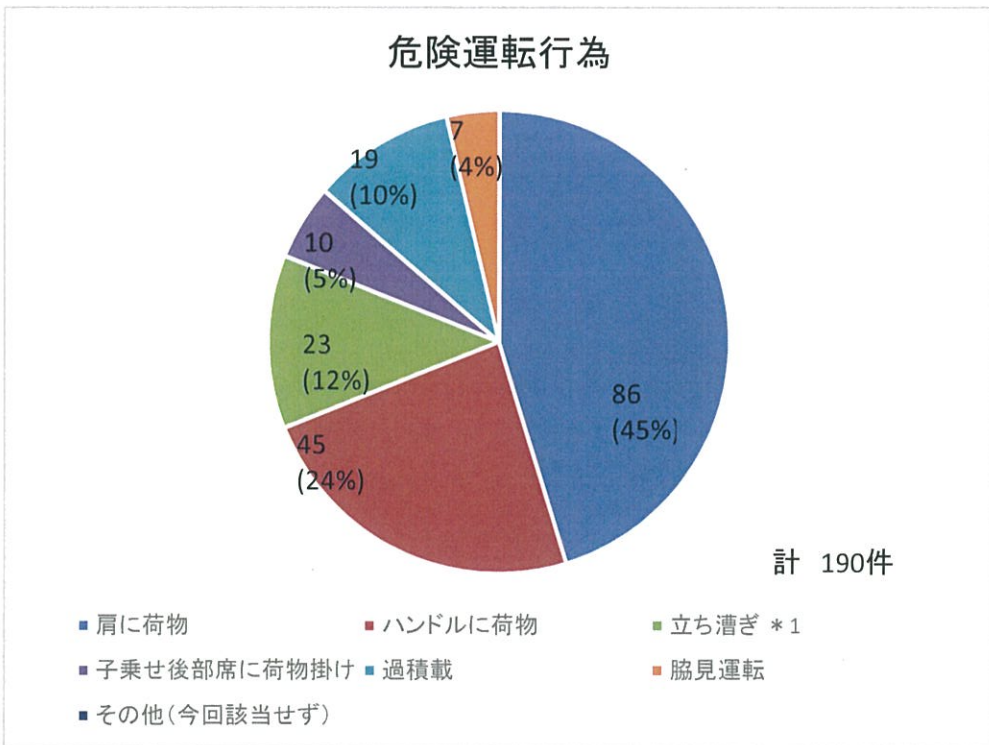
違反運転行為



調査期間 12/5~28

* 1 内3件 携帯電話を使用中の運転

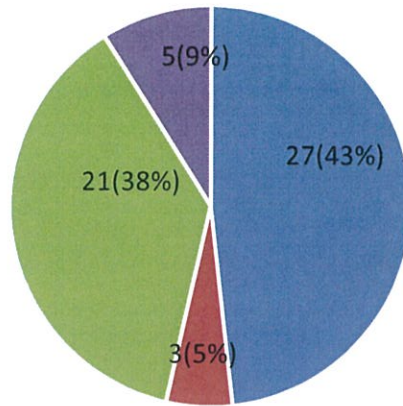
危険運転行為



調査期間 12/5~28

* 1 比率内訳: 上り坂17・下り坂6

違反運転行為(歩道上)



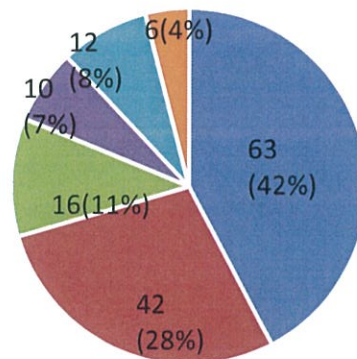
計56件

- 片手運転 * 1
- ジグザグ運転
- スピード出し過ぎ
- 抱っこ運転

調査期間 12/5~28

* 1 内3件 携帯電話を使用中の運転

危険運転行為(歩道上)

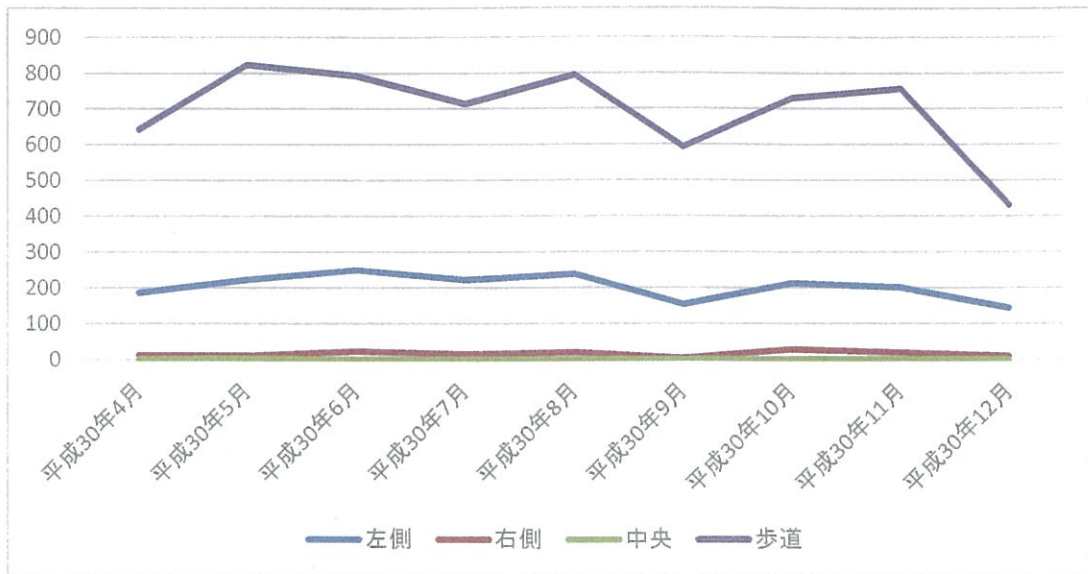


計 149件

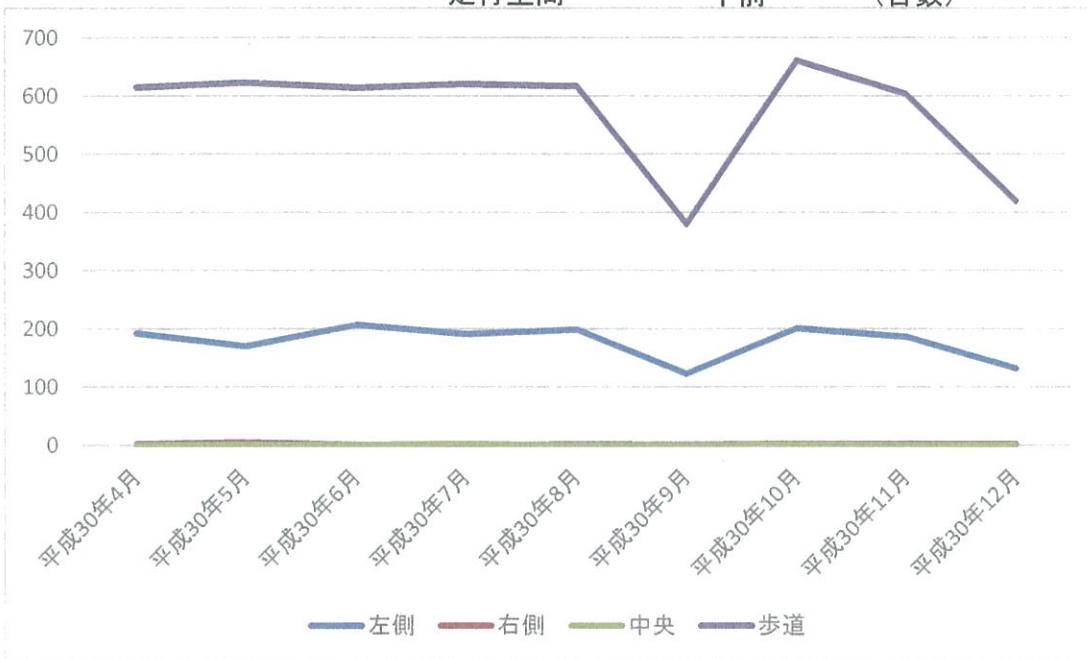
- 肩に荷物
- ハンドルに荷物
- 立ち漕ぎ * 1
- 子乗せ後部席に荷物
- 過積載
- 脇見運転
- その他(今回該当せず)

調査期間 12/5~28

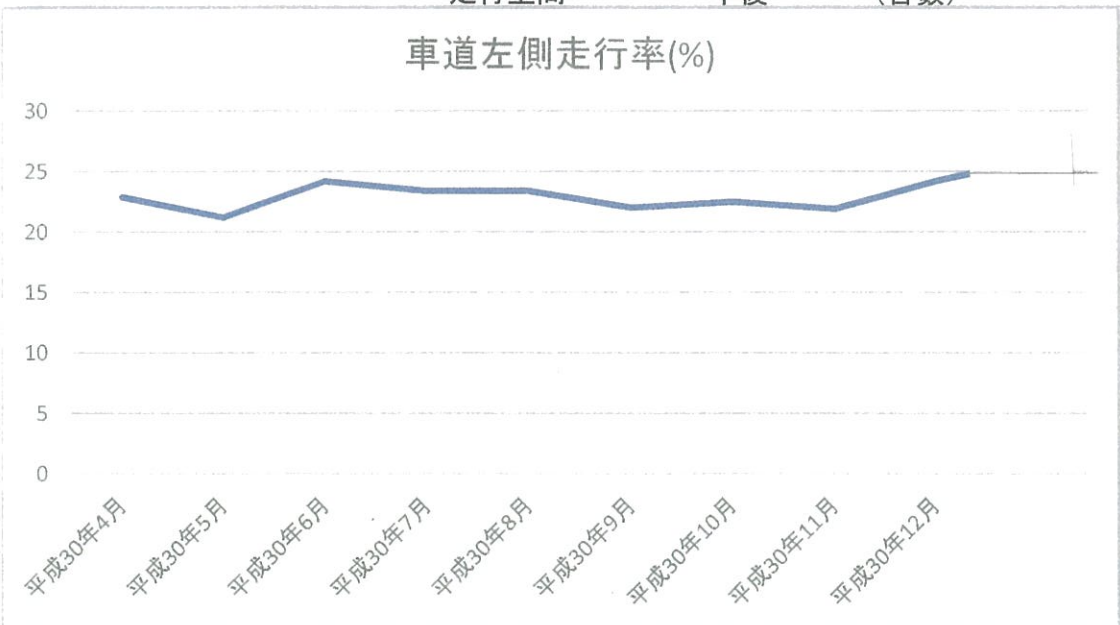
* 1 比率内訳: 上り坂13・下り坂3



走行空間 午前 (台数)

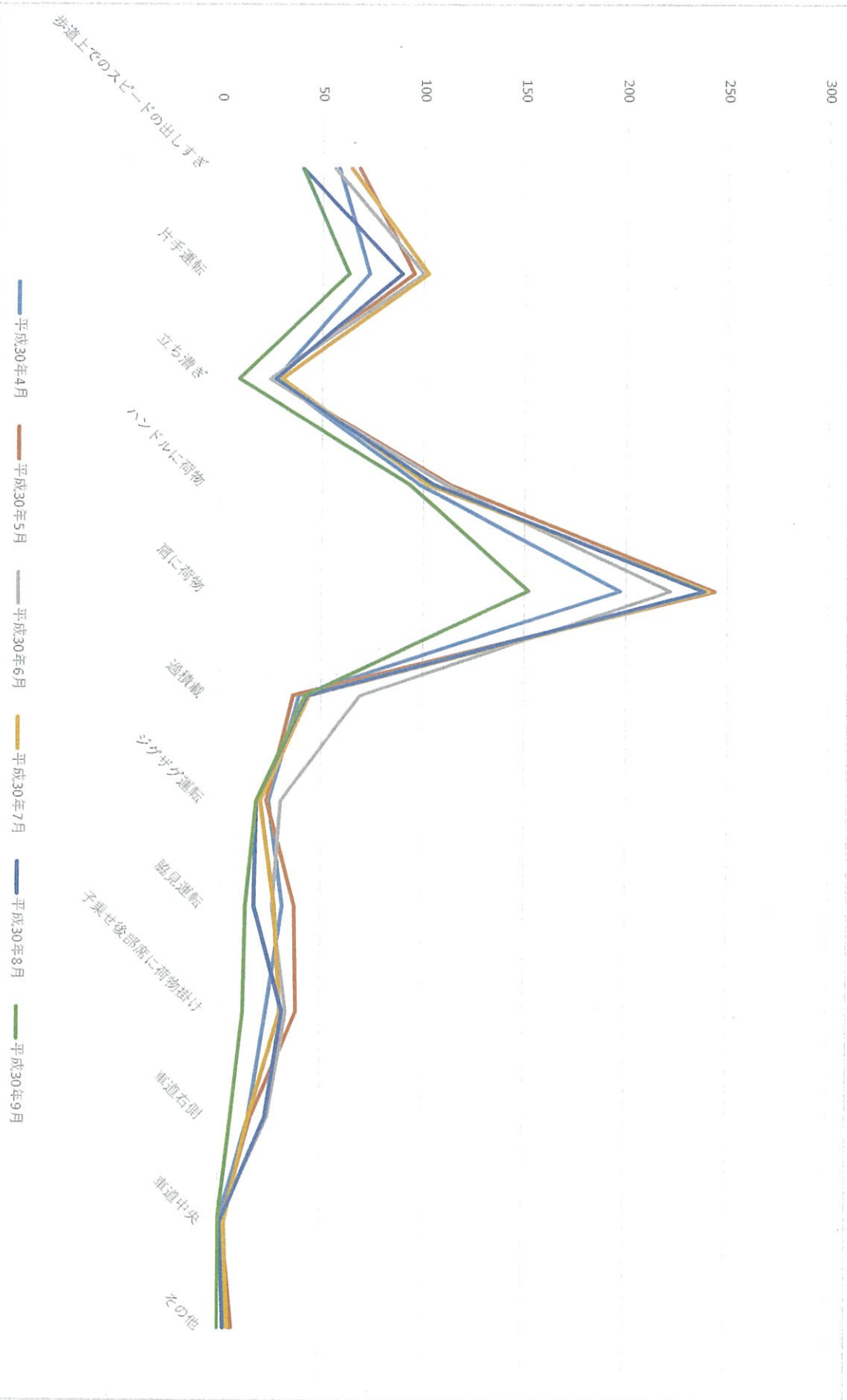


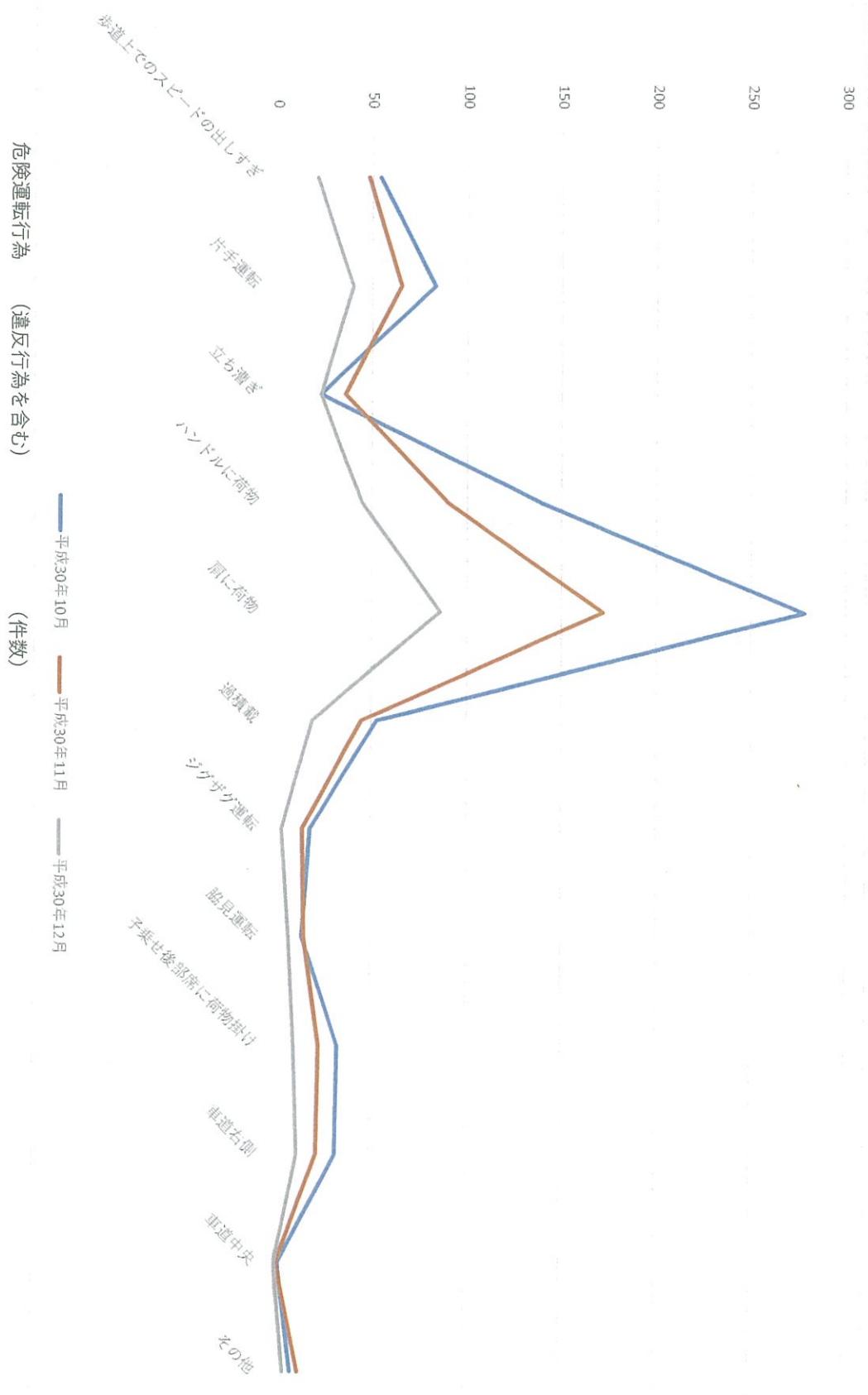
走行空間 午後 (台数)



車道左側走行率(%)

危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)





自転車利用実態定点調査報告（B地点）

（一財）日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成30年 12月 27日
 [午前]9:00～10:00/ [午後]14:00～15:00

調査場所 ・ 白金幼稚園前（庭園美術館西交差点(首都高速目黒線直下)から 70m 程の上り坂)

概要 ・ 調査対象(車道線:目黒通り上り 4 車線及び歩道:幅員 3.1m
 [一部歩道橋橋脚部分 1.5mあり])
 調査対象外(反対側上り歩道)



上り線車道	歩道	← }	対象外 対象 エリア
	←直進・右折レーン		
	←直進レーン		
	←左折レーン		
	←左折レーン		
	歩道	↑	
			白金幼稚園

調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

No.	走行空間			車道	歩道	危険走行行為				
	車道左側	車道中央	歩道			車道中央走行	肩に荷物/ハンドルに荷物	立ち漕ぎ	片手運転	車道右側走行
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										

調査日時:	年	月	日	時	分
天気:					
調査時間:					

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、26%であり、また、車道中央走行率は、約16%であり、依然、歩道を通行する自転車が多く、全体の5割強を占めている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、車道中央走行(12件)・肩に荷物/ハンドルに荷物(各4件)・立ち漕ぎ(3件)・片手運転(2件)・車道右側走行(1件)の順となっている。

【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の12/26)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

今回(26.1%)は、前回(15.5%)と1.7倍の水準である。

なお、午前(31.0%)は、前回(11.7%)の2.6倍の水準である。

また、午後(18.5%)は、前回(30.0%)の6割の水準である。

なお、午前の上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・31%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・25%)の1.2倍の水準である。

また、午後の上り地点(19%)に対し、下り地点(24%)の8割の水準である。

・子乗せ自転車

今回(20%)は、前回(30%)の 7 割の水準

上り地点(20%)に対し、下り地点(22%)の 9 割の水準

なお、同自転車における同乗者あり(50%)の場合でのヘルメット着用率は、71%である。

今回(71%)は、前回(64%)の 1.1 倍の水準である。

さらに、ヘルメット着用率の上下線での比較として、上り地点(71%)に対し、下り地点(80%)の 9 割の水準

・電動アシスト自転車

今回(33%)は、前回(39%)の 8 割の水準である。

上り地点(33%)に対し、下り地点(29%)の 1.1 倍の水準である。

・危険運転行為 上り地点の [車道中央走行・肩に荷物・ハンドルに荷物] に対し、下り地点では [肩に荷物・片手運転・ハンドルに荷物] であり共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物の 2 件となっている。
(違反行為を含む)

また、利用者全体(69名)における危険運転行為(違反行為を含み 26 件)の比率は、割合上(*2)では、35%となっている。

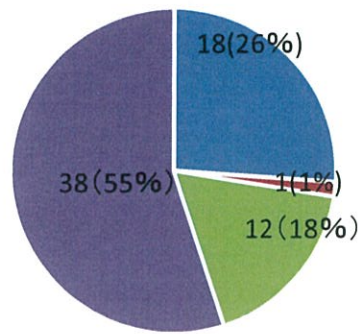
*2 実際は、1 名で複数の危険運転行為等を実施している件(2 件)も含まれるため

上り地点(36%)に対し、下り地点(22%)の 1.6 倍の水準

なお、中央走行者については、基本、電動自転車を使用していない。

さらに、車道中央走行が多かった理由も、前回以前から同様に、上り車線先の庭園美術館西交差点において、歩行者横断帯中央にて左折道路と直進道路が分断されており、直進する利用者は、同交差点のかなり手前から道路中央を走行していたが、4 車線での中間(両隣が 2 車線)走行のため車両に挟まれてながらと、かなり危険な走行を強いられている感が窺えた。

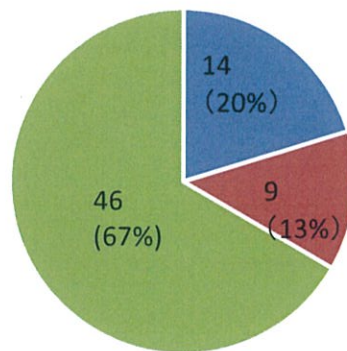
走行空間



計 69台

■ 車道左側 ■ 車道右側 ■ 車道中央 ■ 歩道

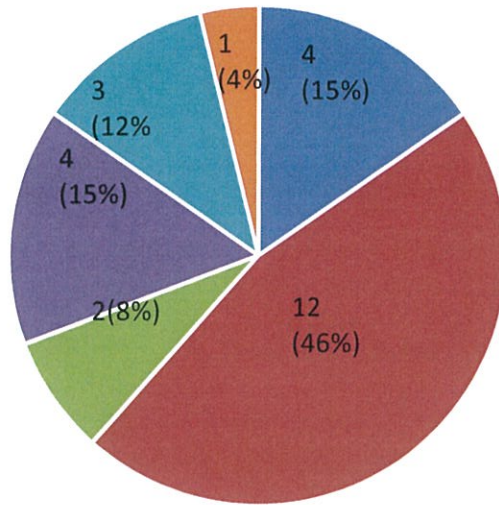
車種



計 69台

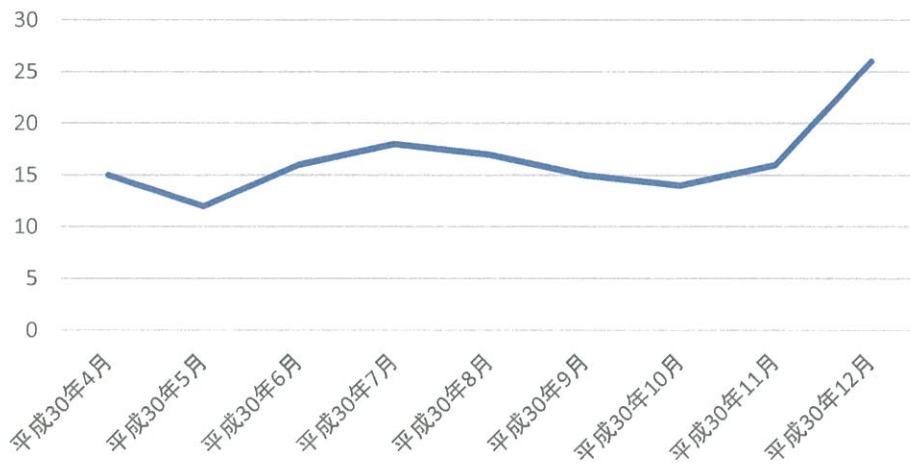
■ 子乗せ(電動) ■ 電動 ■ 一般車(スポーツ車含む)

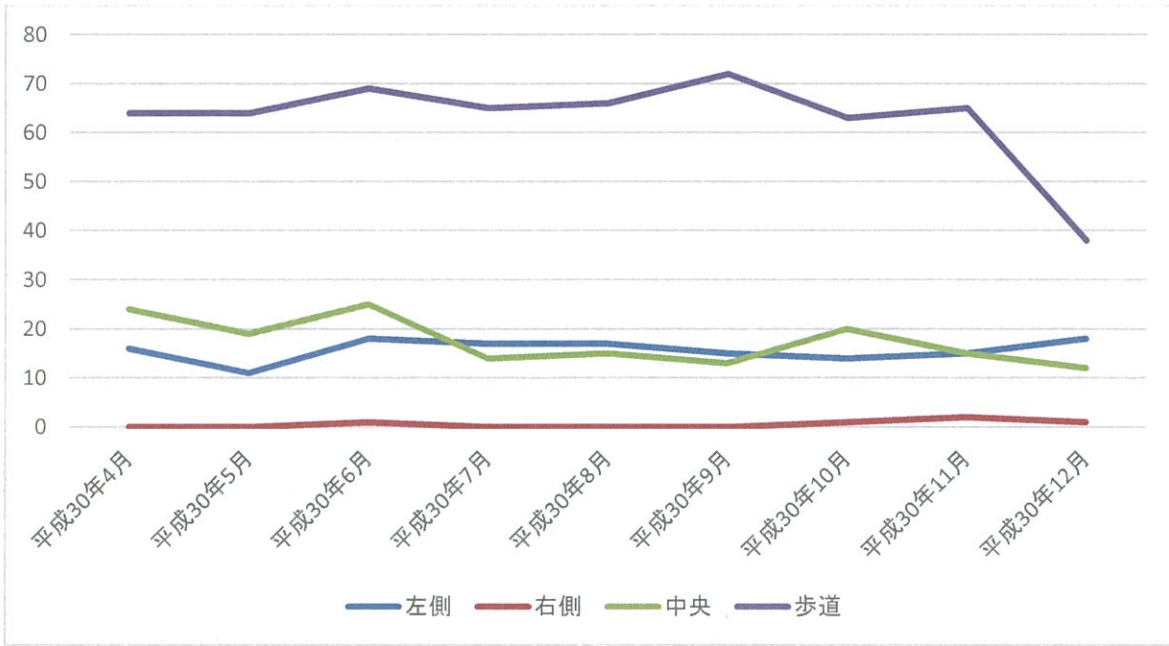
危険運転行為(違反行為含む)



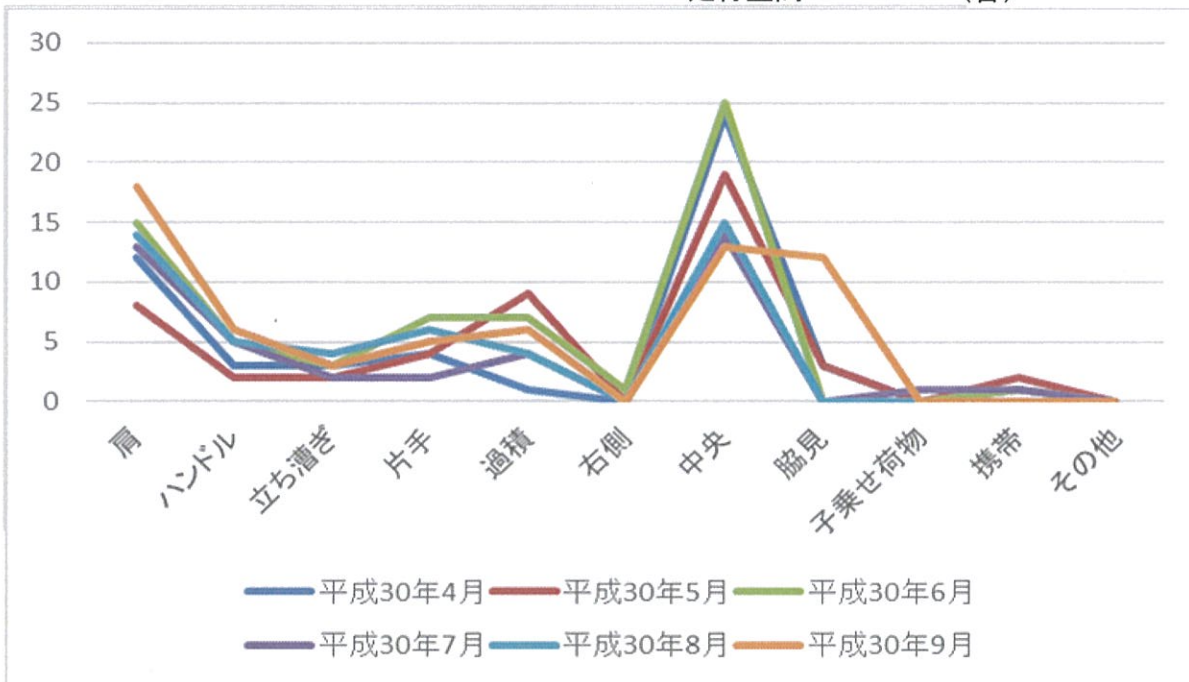
■ 肩に荷物 ■ 車道中央 ■ 片手運転 ■ ハンドルに荷物 ■ 立ち漕ぎ ■ 車道右側

車道左側走行率(%)





走行空間 (台)



危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)

